



ご使用になる前に

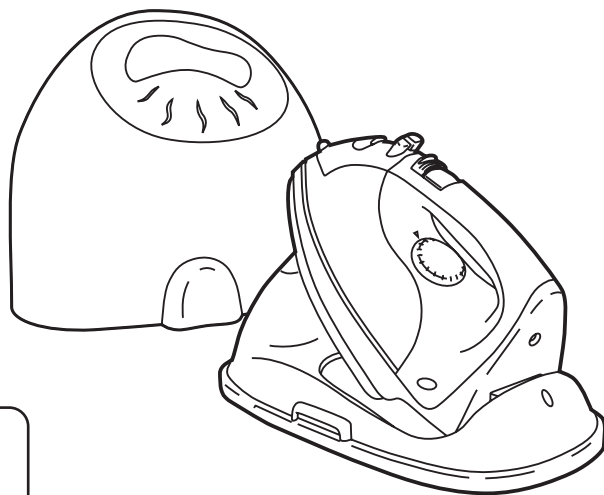
この取扱説明書(保証書付)
を最後までお読みのうえ正
しくお使いください。

一般家庭用

YAMAZEN コードレススチームアイロン
(収納ケース付)

SI-1200K

取扱説明書 (保証書付)



も く じ

安全上のご注意	1~4
ご使用上の注意	4
各部の名称とはたらき	5
お使いになる前に	6~7
使いかた	8~11
お手入れ	12
保 管	13
故障かな?と思ったら	13
仕 様	14
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙


お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じ
たとき、きっとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意


※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。


※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 ○記号は、「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ●記号は、「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



指示に従う

交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用する。電源プラグは根元まで確実に差し込む

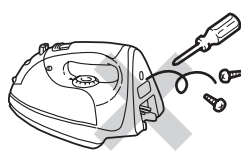
- 交流100V以外、または延長コードやたこ足配線などで使用すると感電やコンセント部が異常発熱して発火や火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。



※修理はお買上げの販売店へご相談ください。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

- 誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。



禁止

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない

- やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や、感電の原因になります。

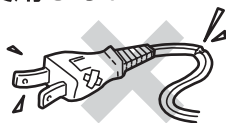
警告



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

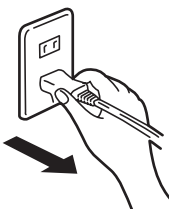
- 感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

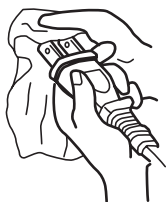
- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりを取る

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込む前にスチーム調節つまみを入れない

- 加熱時にスチーム噴出孔からスチームや熱湯が噴出してやけどをするおそれがあります。



指示に従う

使用後は電源プラグをコンセントから抜き、水タンク内の水を捨ててから保管する

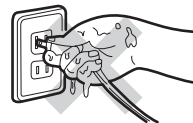
- 水タンク内の水がこぼれたり、次回使用時に電源を入れたとき、スチームや熱湯が噴出し、やけどをするおそれがあります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で、抜き差しをしない

- ショート・感電やけがの原因になります。



禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しない

- 爆発や火災の原因になります。



禁止

皮革製品、人工皮革製品やスチームで縮むおそれのある絹や着物などに使用しない



指示に従う

使用中に本体やスタンドに異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 感電や発火のおそれがあります。



禁止

収納ケースの取っ手を持って収納ケースを振らない

- 収納ケースからスタンド・本体がはずれて落下し、けがや故障の原因になります。



禁止

パイロットランプ点灯中にスチーム調節つまみを入れない

- スチームや熱湯が噴出しやけどをするおそれがあります。



禁止

スチーム噴出孔を人に向けたり、着用したままの服、顔や頭などにスチームをかけない

- やけどをするおそれがあります。



指示に従う

使用中は本体から離れない

- 火災・やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

本体及びスタンドを水につけたり、水をかけたり、丸洗いを絶対にしない

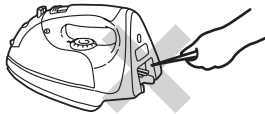
- ショートや感電の原因になります。

警告



禁止

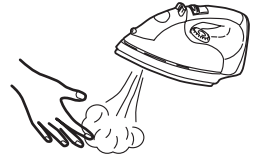
開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない
●感電や異常動作をしてけがをする原因になります。



接触禁止

スチーム使用中にスチーム噴出孔近くに手をかざしたり、スチームに触れない

●スチームでやけどをする原因になります。



接触禁止

使用中、使用後しばらくは高温部(かけ面・スタンド・水タンクの下側など)に触れない
●やけどの原因になります。



禁止

本体の接続ピンやスタンドの接点部にゴミやほこり、金属物などを付着させない
●感電やショートして発火することがあります。

注意



指示に従う

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

●感電やショートして発火する原因になります。



禁止

本体は立てて置かない

●本体が倒れて、けがややけど・火災の原因になります。使用しないときは必ずスタンドに確実に置いてください。



禁止

本体を傾けたり、前後に激しく動かさない

●水漏れや、やけどの原因になります。



禁止

熱い本体にコードを巻き付けない

●ショート・発火することがあります。



指示に従う

水タンクの取り付けは確実にこなう

●落下により、破損やけがをすることがあります。



禁止

通電したままで放置しない

●けがややけど、絶縁劣化による感電や火災の原因になります。



禁止

熱に弱いテーブルクロスなどの上に通電したまま放置しない

●発火の原因になります。



指示に従う

本体を運んだり、収納するときは、十分に冷めてからおこなう

●やけどやけが、発火の原因になります。



禁止

本体やスタンドを落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない

●故障・感電・発火の原因になります。

⚠ 注意



指示に従う

本体を収納ケースにセットして持ち運ぶときは、スタンドに収納ケースが確実にセットされているか確認する

- 収納ケースが片側しか引っかかっていない状態で持ち運ぶと、製品が落下し、けがや故障の原因になります。



禁止

パワースチームボタンを連続して早く操作しない

- 2秒間隔より早く操作をすると、湯滴が出て衣類を汚す原因になったり、やけどをするおそれがあります。

ご使用上の注意

アップリケなどの接着をおこなう際は「あて布」を必ずしてください

- スチーム調節つまみを「切」にして、温度調節つまみを「麻」か「綿」に合わせ、必ず「あて布」をしてください。説明書が添付されているときは、その指示に従ってください。

水を本体にかけないでください

- 感電・故障の原因になります。

市販品のかけ面カバーは使用しないでください

- 故障の原因になります。

スプレーのりはシリコン系が成分に含まれたものを使用し、「ドライアイロン」で仕上げてください

- シリコン系が含まれていないのりを使用すると、かけ面にのりが付着して滑りが悪くなります。

ボタンなどの固いものにアイロンかけをしないでください

- かけ面を傷めます。

かけ面の温度が十分に上がってからスチームを使ってください

- かけ面から水漏れすることがあります。

使用しないときや保管中は、スチーム調節つまみを『切』にしてください

- 水漏れしたり、本体内部が腐食する原因になります。

本体の接続ピンとスタンドの接点部は磨かないでください

- 接触不良の原因になります。

本体をスタンドに置く場合、逆方向や横向きに置かないでください

- 変形や故障の原因になります。

本体がアイロン台からはみだした状態で使用しないでください

- やけどの原因になります。

かけ面がスタンドのプラスチック部や収納ケースにあたらないようにしてください

- 変形したり、傷がつき、故障の原因になります。

水道水以外は入れないでください

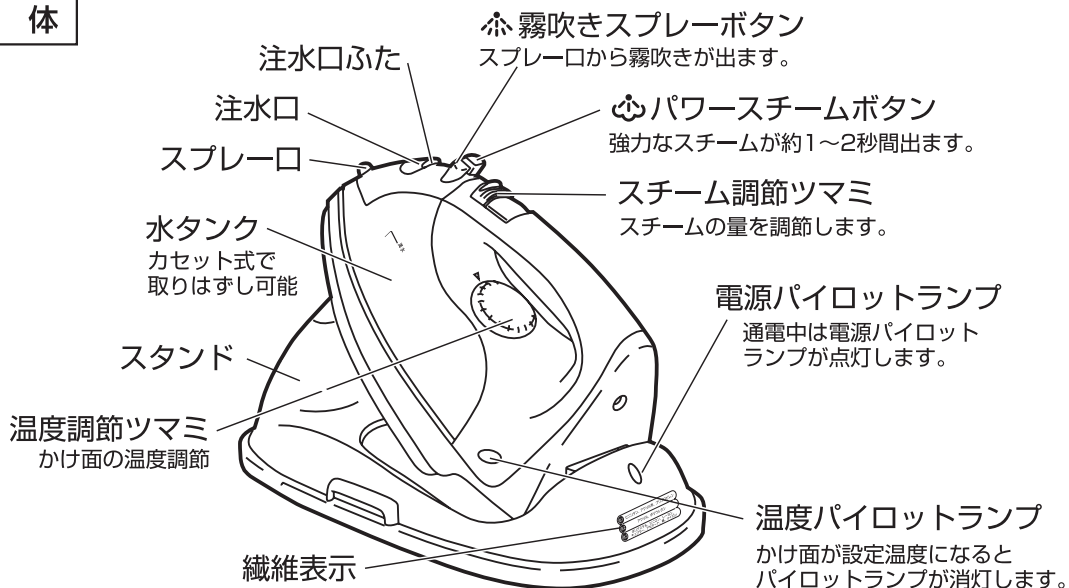
- 水タンクが破損したり、衣類を汚す原因になります。

業務用に使用したり、他の目的で使用しないでください

- 過負荷がかかり、故障の原因になります。

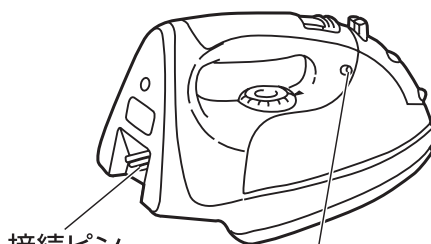
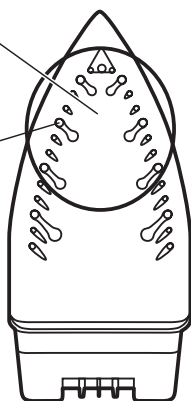
各部の名称とはたらき

本体



かけ面
 (テフロン®コーティング)
 「テフロン®」はデュポン社の
 登録商標です

スチーム噴出孔
 丸の部分を中心にすべての
 孔よりスチームが噴出します。
 (全部で27個)



ロックボタン
 水タンクをはずすときに
 使います。

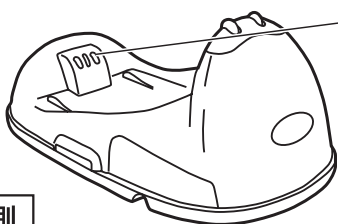
付属品

注水カップ



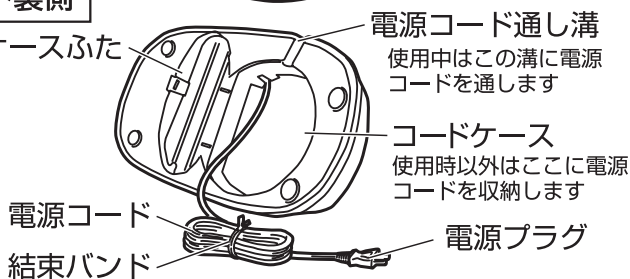
水タンクに水を注ぐ
 ときにご使用ください。

スタンド

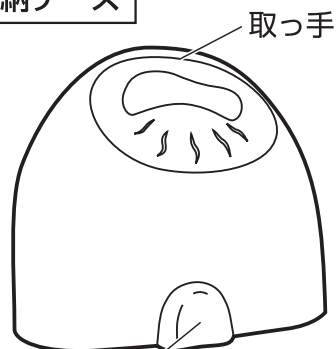


スタンド裏側

コードケースふた



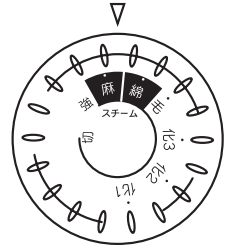
収納ケース



お使いになる前に

■温度調節つまみと繊維の関係について

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名に従い温度調節つまみを合わせて、混紡の場合は、設定温度の低い布地に合わせてください。
- 使用中に衣類の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度設定でも布地を傷めることがありますので注意してください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは目立たない所に「試しかけ」をするか「あて布」をしてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。



衣類に表示されている絵表示	温度調節つまみの目盛り	繊維名	かけ面の温度
	麻	麻	約180～190℃
	綿	綿	
	毛	毛	約140～160℃
	化3	アセテート・レーヨン キュプラ、絹 ポリエステル、ナイロン ビニロン	約130℃
	化2	アクリル、ポリウレタン	低約80～120℃
	化1	ビニリデン、アクリル系 ポリプロピレン	

高
中
低

その他、衣類に表示されている絵表示の見かた	
	あて布が必要です
	布地の裏からかけます
	アイロンかけはできません。
その他「スチーム禁止」などの表示がある場合はその指示に従うようにしてください。	

※「化」は化学繊維を表しています。

■コードレスアイロンについて

コードレスアイロンは、本体をスタンドに置いたときにヒーターに通電して本体のかけ面に熱を蓄え、かけるときにその余熱を利用します。
アイロンをかけている間徐々にかけ面の温度が下がりますので、衣類を整えているときなどに本体をスタンドに置き、給電してください。

1 給電中にアイロンがけの準備をします

- ヒーターに通電中は温度パイロットランプが点灯します。
- ※給電時間は約1分30秒かかります。

2 温度パイロットランプが消えてから作業を始めます

- かけ面が設定温度になるとヒーターへの通電をストップします。温度パイロットランプが消えたら使用してください。
- ※連続使用時間は最大約1分30秒ですが、使用方法により異なります。

3 給電は衣類を整えている間などにおこないます

- 衣類を整えている間は本体をスタンドに確実に置き、給電してください。また、設定温度によって異なりますが、使用開始から約1分～1分30秒経過しますと、給電アラーム（ピーピー）が鳴ります。鳴った場合は本体をスタンドに置き温度パイロットランプが消えるまで給電してください。

お使いになる前に つづき

■上手なアイロンかけのコツ

アイロンの重みを利用して軽く滑らす

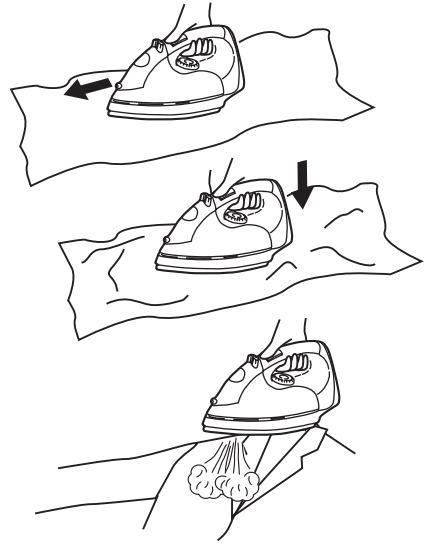
- もどりジワを防ぐために一方向に軽くかけてください。

しっかり押さえる

- シワがひどいときや、厚手の布地の折り目つけ、縫い目などはしっかり押さえてかけるときれいに仕上がります。

スチームをかける

- 裾や袖口の仕上げ、ひざのまるみとり、セーターや背広などは軽く浮かせてスチームをかけると柔らかな感じで仕上がります。



■アイロンかけのアドバイス

アイロンかけは順序よく

- 衣類が混紡の場合、設定温度の低い布地からアイロンをかけるようにしてください。

縫い目は引っ張りぎみに

- 衣類の縫い目に合わせてかけ、縫い目を引っ張りぎみにすると細かいシワも残りません。

スプレーのりはドライで

- スプレーのりをかけたら、必ずドライでアイロンかけをします。(必ずスチーム「切」でおこなう) 少し固めに仕上げたいときは、スプレーのり、アイロン(ドライ)かけを繰り返してください。
※ご使用後はかけ面が十分に冷めてから、ぬれた布で拭いてください。かけ面にのりが残っていると、衣類の汚れの原因になります

かけ面に布がからむ

- 静電気が発生していますので、かけ面を布地の端まですべらせてから持ち上げてください。

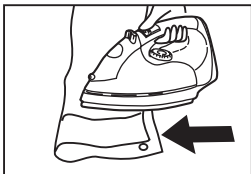
ハンカチは余熱を利用して

- ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を有効に利用してください。

厚手の木綿・麻には

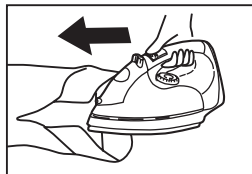
- 厚手の木綿や麻などは、霧吹きスプレーをしてドライで仕上げるときれいに仕上がります。
※ドライとはスチーム「切」のことを意味しています。

■ワイシャツのかけ方



1. 袖の仕上げ

- 袖下の縫い目を基準にして、袖下から袖山へ向かって一方向にかけます。
- アイロンを左手に持ちかえて、右手で袖先を支えながら袖口を決めます。



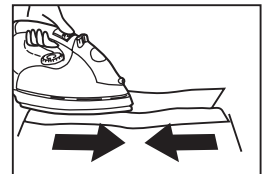
2. 袖先

- 袖先を開き、その中にアイロンを軽くすべらせ、袖先の内側をかけます。
- 袖先を合わせ、袖先ボタンを下にし、タックを押さえかけします。



3. 肩(ヨーク)仕上げ

- テーブルの先端を利用して両肩をかけます。(アイロンを左手に持ちかえた方がかけやすいです)



4. エリの仕上げ

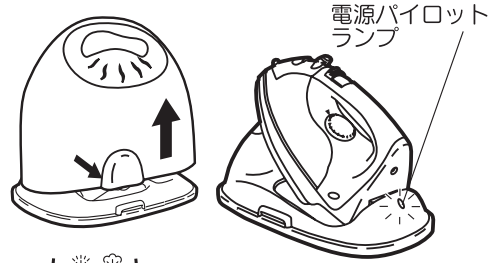
- 両端から中央に向かって半分づつかけていくとエリ端にたるみが残らず仕上がります。

使 いかた

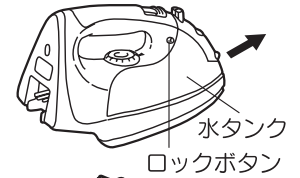
スチームアイロンとして使用する場合

1 収納ケースをはずし、スタンド裏側のコードケースから電源コードを取り出し、電源プラグをコンセントに差し込みます

- 収納ケースのケースフックの両側下部を外側に開くようにして、上へ持ち上げてははずします。
 - 温度調節つまみとスチーム調節つまみが「切」になっていることを確認し、スタンド裏側のコードケースから電源コードを取り出し電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ※通電中は、電源パイロットランプが点灯します。



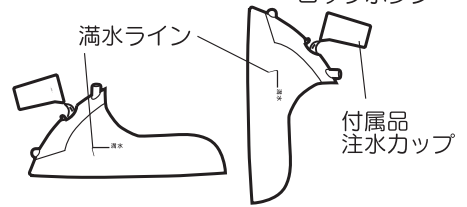
矢印の方向へ水タンクを引き抜きます



2 水タンクに水を入れます。

- ロックボタンを押し、水タンクを引き抜きます。
- 注水口のふたを開け、水タンクに水を注ぎ入れます。水タンクの満水ライン以上水を入れないでください。
- 注水口のふたを閉めます。
- ロックボタンが「カチッ」と音がするまで水タンクを本体に確実に差し込みます。

※付属品の注水カップをご使用いただくと便利です。



ご使用上の注意

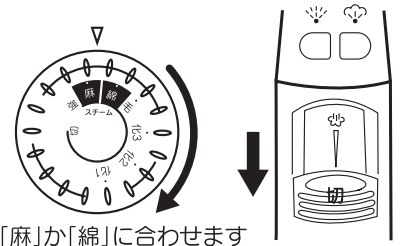
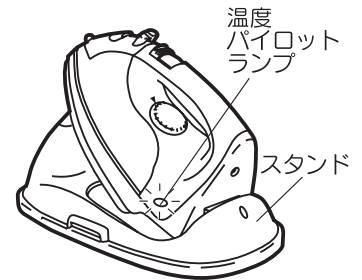
- 水タンクの縦・横とも、満水ライン以上は水を入れないでください。
- 必ず水道水をお使いください。
- 水こぼれ防止のため、スチーム調節つまみは「切」の位置にして本体を持ち運んでください。
- 給水は水タンクを必ず本体からはずして給水してください。

3 本体をスタンドに確実に置き給電をします

必ずお守りください

スチーム調節つまみは必ず「切」にして給電してください。給電中に熱湯がこぼれたり、スチームが噴出て、やけどをするおそれがあります。

- 本体をスタンドに確実に置き、温度調節つまみを一度、「麻」か「綿」にします。
※「綿」以下に設定すると、スチームが弱かったり、出ないことがあります。
- 温度パイロットランプが点灯し、給電していることをお知らせします。
- かけ面が設定温度になるとヒーターへの通電をストップし、温度パイロットランプが消灯します。



ご使用上の注意

- 温度パイロットランプが消えてから使い始めてください。
- 給電時間は、約 1 分 30 秒、途中給電は約 30 秒です。(目安)
- 温度調節つまみを「切」以外に設定していないと給電しません。
- 給電中や使用中、使用後は、かけ面や金属部が高温になっています。十分注意してください。

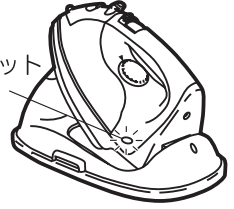
使いかた つづき

4

アイロンかけをします

- 温度パイロットランプが消灯したらアイロンかけをおこなってください。
本体を水平にして、スチーム調節つまみをご使用に応じた位置に合わせます。

温度
パイロット
ランプ



必ずお守りください

「高」以外に設定されている繊維にスチームをかける場合は必ずかけ面を浮かせて使用してください。

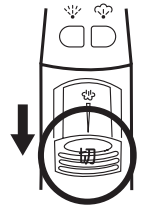
ご使用上の注意

- スチーム調節つまみが「入」の時、温度調節つまみを「綿」以下に合わせて使用するとスチームがうまく出ず熱湯がこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- スチーム（特にパワースチーム）噴出時に白い粉が出ることがありますが、水に含まれるミネラルなどが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合は、はらっていただくと取れます。
- アイロンをスタンドに「置くとき」または「はずすとき」にスタンドの接点部よりスパーク（火花）が発生することがありますが、異常ではありません。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。
- スチームアイロンとして使用すると本体や水タンクの表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときは拭きとってください。
- 本体を真横や逆さまにしないでください。水漏れすることがあります。
- スチームは高温なので、必ずかけ面を下にしてご使用ください。また、取り扱いには十分注意してください。

5

途中給電

- 設定温度によって異なりますが、約1分～1分30秒経過しますと「ピーピー」と給電アラームが鳴ります。鳴りましたら、スチーム調節つまみを「切」にしてから本体をスタンドに確実に置き給電してください。
※本体をスタンドに置く場合、逆方向や横方向に置かないでください。変形や故障の原因になります。



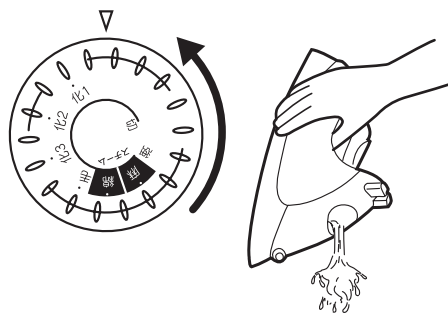
- 本体をスタンドの接点部にまっすぐ止まるまで戻します。
- 温度パイロットランプが点灯しているときは消えるまで待ってから使用してください。（途中給電時間は約30秒です）
- 使用しないときは必ず本体をスタンドに確実に置いてください。
- 温度設定「麻」又は「綿」で連続してスチームアイロンかけができる時間は、使用条件により異なりますが最長約1分30秒です。
- 温度設定を高温から中温又は低温に変えると、点灯していた温度パイロットランプが消灯します。このような場合は温度パイロットランプが再点灯し、ランプが消灯するまで待ってから使用してください。
（高温から変えた場合はかけ面温度が冷めにくく、適温になるまで時間がかかります）
- スチームの出が悪いときは、本体を水平にしてから前後に数回ゆっくりと動かしてください。

ご使用上の注意

- スチーム調節つまみを「入」にしたまま給電されると、かけ面の温度の上昇とともに、スチームが噴出し、やけどをするおそれがありますので、給電中は危険防止のためにスチーム調節つまみは必ず「切」にしてください。また、スチーム調節つまみを「切」にした状態でも本体内部に残った熱湯やスチームが出たりすることがありますので注意してください。
- 水タンクの水が無くなりましたら、8ページ「使いかた」の「2. 水タンクに水を入れます」の手順で給水してください。

6 使用後

- スチーム調節ツマミを「切」にします。
- 温度調節ツマミを「切」に合わせ、スタンドに確実に置き電源プラグをコンセントから抜きます。
- 水タンクに水が残っている場合は、本体及びかけ面が十分に冷めていることを確認してから水タンクをはずします。
※やけどに注意してください。
注水口のふたを開けて軽く振って水を抜きます。
- 水タンクを本体にセットします。

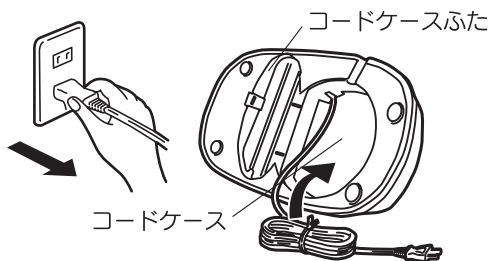


ご使用上の注意

- 水タンクをはずして排水するときは、高温部が十分に冷めてから排水してください。やけどのおそれがあり、大変危険です。

7 電源コードを収納します

- 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをまとめスタンド裏側のコードケースふたを開き、コードケースに収納します。

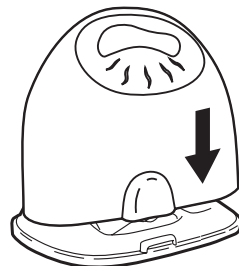


8 収納ケースをかぶせます

- 本体をスタンドに確実に置き、収納ケースを「カチッ」と音がするまでかぶせ軽く上から押さえ両側のケースフックを確実にはめます。

ご使用上の注意

- 収納する際は本体・かけ面が十分に冷めてからおこなってください。
- 通電したまま収納ケースをかぶせないでください。
- 片側しかはまっていない場合、持ち上げたときにはずれることがありますので注意してください。



ドライアイロンとして使用する場合

1 収納ケースをはずし、スタンド裏側のコードケースから電源コードを取り出し、電源プラグをコンセントに差し込みます

8ページの「1. 収納ケースをはずし、スタンド裏側のコードケースから電源コードを取り出し、電源プラグをコンセントに差し込みます」を参照してください。

2 霧吹きスプレー／パワースチームを使用する場合は水タンクに水を入れます

8ページの「2. 水タンクに水を入れます」を参照してください。

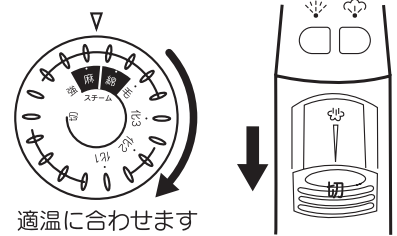
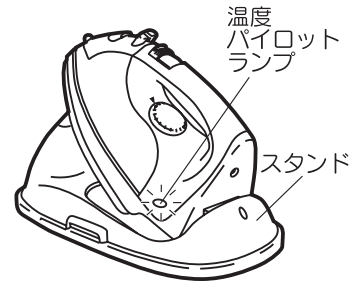
使いかた つづき

3 本体をスタンドに確実に置き給電をします

必ずお守りください

スチーム調節ツマミは必ず「切」にして給電してください。給電中に熱湯がこぼれたり、スチームが噴出て、やけどをするおそれがあります。

- 本体をスタンドに確実に置き、温度調節ツマミをアイロンかけする衣類の種類に応じて合わせます。温度パイロットランプが点灯し、給電していることをお知らせします。
- かけ面が設定温度になるとヒーターへの通電をストップし、温度パイロットランプが消灯します。

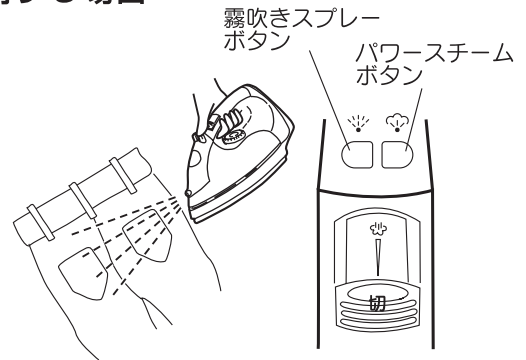


ご使用上の注意

- 温度パイロットランプが消えてから使い始めてください。
- 給電時間は、約1分30秒、途中給電は約30秒です。(目安)
- 温度調節ツマミを「切」以外に設定していないと給電しません。
- 給電中や使用中、使用後は、かけ面や金属部が高温になっています。十分注意してください。

4 霧吹きスプレー・パワースチームを使用する場合

- 厚手の木綿・麻は、霧吹きスプレーを使用するときれいに仕上がります。
- 霧吹きスプレー
霧吹きスプレーボタンを押すと、スプレー口から霧吹きが出ます。(ボタンを強く押すと、勢いよく出ます)
- パワースチーム
パワースチームボタンを約2~3秒間隔で押すと強力なスチーム(約1~2秒)がかけ面のスチーム噴出孔から出ます。



ご使用上の注意

- スチームは高温なので、必ずかけ面を下にしてご使用ください。また、取り扱いには十分注意してください。

5 途中給電

9ページの「5.途中給電」を参照してください。

6 使用後

10ページの「6.使用後」を参照してください。

7 電源コードを収納します

10ページの「7.電源コードを収納します」を参照してください。

8 収納ケースをかぶせます

10ページの「8.収納ケースをかぶせます」を参照してください。

お手入れ

お手入れや移動の際は、本体やかけ面が十分に冷めたのを確認してからおこなってください。

警告



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で、抜き差しをしない
●ショート・感電やけがの原因になります。



接触禁止

使用中、使用後しばらくは高温部（かけ面・スタンド・水タンク下側など）に触れない
●やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

本体及びスタンドを水につけたり、水をかけたり、丸洗いを絶対にしない
●ショートや感電の原因になります。

お願い

- お手入れには台所用中性洗剤を使用してください。シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類は使用しないでください。破損・変質の原因になります。
- 化学そうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

- 本体の丸洗いはしないでください。感電や故障の原因になります。

お手入れのしかた

本体・スタンドの汚れ



- 台所用中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって汚れを拭き、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。

ご注意

- ベンジン・シンナー・アルコールなどは本体を傷める原因になりますので、使用しないでください。

かけ面の汚れ

- スプレーのりを使った後はぬれた布で汚れを拭いてください。クレンザー、たわしなどは表面を傷つけますので使用しないでください。

ご注意

- ご使用後はかけ面が十分に冷めてから、ぬれた布で拭いてください。かけ面にスプレーのりなどが残っていると、衣類の汚れの原因になります。

スチーム噴出孔のつまり


- つまようじなどでゴミを取り除き、ぬれた布で拭いてください。
- ご不用の布地の上で数分間、スチームを噴出してください。

接続ピンの汚れ

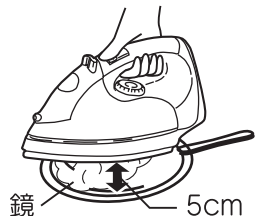
- 乾いた布で拭き取ってください。

スチーム噴出の確認方法

スチームの出が悪い、途中で止まる場合は次の方法で確認してください。

本体を水平にし、スチーム調節ツマミの「」 ↔ 「切」を数回繰り返しスライドさせてから、スチームが出る位置に合わせます。

鏡から5cm程離し、本体を水平にして前後に数回ゆっくり動かしてください。スチームが噴出している場合は鏡がくもります。鏡がくもらない場合はお手入れをしてください。



警告



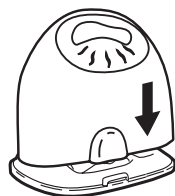
接触禁止

スチーム使用中にスチーム噴出孔近くに手をかざしたり、スチームに触れない
●スチームでやけどをする原因になります。

保 管

保管の際は必ずお手入れをおこない、よく乾燥させてからおこなってください。

保管をする際は、**お手入れ**を参照し、汚れをしっかりと取ってから収納ケースに入れて保管してください。



- 本体をスタンドに正しく置いてから、収納ケースを「カチッ」と音がするまでかぶせ、両側のケースフックを確実にはめてください。

注意
● 通電したまま収納ケースをかぶせないでください。

※片側しかはまっていない場合、持ち上げたときにはずれることがありますので注意してください。

※収納ケースの取っ手を持って収納ケースを振らない。

故障かな？と思ったら 次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
熱くならない	● 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか？	● 確実に差し込んでください。
スチーム噴出孔から水漏れする	● 温度調節つまみが、「切」になっていませんか？	● 布地に合わせて温度調節つまみを適切な温度に設定してください。
スチームが出ない	● 適温になってから使いましたか？	● 温度設定後約1分30秒経過してから使ってください。
スチームの出が悪い	● スチーム調節つまみが「切」になっていませんか？	● スチーム調節つまみを「 少 」にします。
	● 水タンクの水が少なくなっていますか？	● 水を給水してください。
	● スチーム噴出孔にゴミや水アカが付着していませんか？	● お手入れをしてください。 (お手入れのしかた参照)
布地がこげる	● 「スチーム」の設定にしても噴出しませんか？	● 本体を水平にし、スチーム調節つまみを数回動かしてから「 少 」に合わせます。
	● 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にスチームの設定でかけるとき、あて布をしていますか？	● あて布をしてください。
	● 布地に合った温度目盛になっていませんか？	● 布地に合った温度目盛に温度調節つまみを合わせてください。
	● 温度目盛を高温から低温に変えてからすぐにアイロンをかけましたか？	● 温度目盛を変えてから約15分後にお使いください。
	● スプレーのりを衣類にかけすぎていませんか？	● 衣類を水洗いしてのりを落としてください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに深い傷や変形がある。
- こげくさい臭いがする。
- 器具に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 予熱をはじめて30分以上経っても温度パイロットランプがつかばなしになっている。
- その他の異常や故障がある。

★
異常があれば

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 圧	交流100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	1200W
製 品 寸 法	本 体 幅:250mm×奥行:115mm×高さ:135mm 収納時 幅:290mm×奥行:195mm×高さ:260mm
質 量	本 体 約1.1kg 収納時 約1.9kg
コ ー ド 長	約1.9m
蒸 気 発 生 方 式	滴下式
温 度 調 節	約80℃~200℃
安 全 装 置	温度ヒューズ 240℃
水 タ ン ク 定 格 容 量	水量 約140ml

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理についてはお買上げの販売店にご相談ください。
(株)山善は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- ④スチームアイロンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

この商品についての不明な点や、修理に関するご相談は
「山善 家電お客様サービス係」




0120-680-286

受付時間：(土・日・祝祭日を除く)月～金 午前10時～午後5時

※フリーダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

●季節や時間帯によってフリーダイヤルがかかりにくい場合があります。その際は、「お買い求めの商品名・形名・ご相談内容・お客様のお名前・お電話番号」をご記入の上、FAXにてお問い合わせください。

サービス係よりご連絡をさせていただきます。 ■FAXでのお問い合わせ  **0120-680-287**

YAMAZENコードレススチームアイロン

形 名 **SI-1200K**

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、お買上げの販売店が無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります「山善 家電お客様サービス係」へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の転倒、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または、下記の「山善 家電お客様サービス係」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書のアフターサービスについてをご覧ください。

この商品についての不明な点や、修理に関するご相談は
「山善 家電お客様サービス係」



0120-680-286

受付時間：（土・日・祝祭日を除く）月～金 午前10時～午後5時

※フリーダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

●季節や時間帯によってフリーダイヤルがかかりにくい場合があります。その際は、「お買い求めの商品名・形名・ご相談内容・お客様のお名前・お電話番号」をご記入の上、FAXにてお問い合わせください。サービス係よりご連絡をさせていただきます。■FAXでのお問い合わせ



0120-680-287



株式会社 **山善** 家庭機器営業本部

関東営業部 〒116-0012 東京都荒川区東尾久3-26-5 岩沢第一ビル2階
大阪営業部 〒550-8660 大阪市西区立売堀3丁目2番5号
名古屋営業部 〒456-8588 名古屋市熱田区白鳥2丁目10番10号
九州営業部 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番11号
東北営業部 〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目7番7号